

支援機関向け

その気づきを次のアクションへ

カルバンマーク



より本質的な
支援の実現へ



経済産業省

Ministry of Economy, Trade and Industry



大切なことは相手を知ること！

- 環境変化の大きな現代では、企業の強み(資産)を経営に活かすことが重要です。
- 企業の資産には、建物や機械などの「目に見える資産」の他に、例えば人脈やブランド、チームワークの良さなどの「目に見えない資産」があります。
- 「目に見えない資産」はお金に換算することが難しく、企業内部の人でも気づいていないこともあります。しかし、企業の強みとは本来これらを総合したものです。
- 企業のすべての強みを把握し、経営に活かす支援を行うことが重要です。



知的資産経営を実践すると、こんなメリットがあります。

- 経営者や従業員が企業の強みに気づくきっかけになる。
- 従業員が企業の戦略を理解することに繋がり、一体感が向上する。
- 金融機関・取引先・地域などに対して企業の強みを明確に説明できる。
- 企業の魅力と方向性を伝えやすくなり、企業にマッチする人材の確保に繋がる。
- 後継者に企業の全容を伝えることができ、事業承継が円滑になる。

経済産業省では、知的資産経営を実践するための入口として
「ローカルベンチマーク」(通称:口カベン) を提供しています。



ローカルベンチマーク(通称:口カベン)とは

- ロカベンは、3つのシートに企業の情報を記入することで、経営状態や強みを知ることができるツールです。
- 「業務フロー・商流」、「4つの視点（経営者、事業、企業を取り巻く環境・関係者、内部管理体制）」のシートには知的資産経営の考えが取り入れられており、このシートを使って企業と対話をすることで、見えない強みに気づき、企業への理解を深める入口となります。

シート① 業務フロー・商流

製品・商品・サービスを提供する流れを整理

シート② 4つの視点

経営全体を様々な視点から整理

シート③ 財務分析

決算書情報を入力して財務状況を分析



まずは口カベンを活用して企業と対話！

- 口カベンを活用する目的は、企業との対話を通じて、様々な視点から企業への理解を深めることで、より本質的な支援を行うことがあります。
- 口カベンを作成すれば、支援機関内部はもちろん、外部との情報の共有にも活用することが出来ます。

対 話（第1ステージ）

口カベンは前向きな支援です!
対話の際は批判・忠告的な表現を避け、
同じ目線で対話しましょう!

ポイント

状況整理・深掘り

新たな気づき

一緒に深掘りを行ったことで、これまで気づかなかった企業の良いところをたくさん見つけることが出来ました！



強みの整理（第2ステージ）

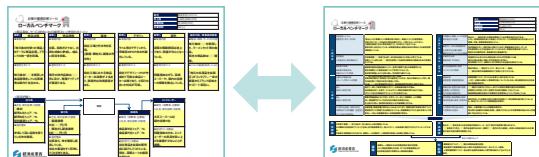
作成した3つのシートの関係性を把握し、
強みを整理しましょう！

ポイント

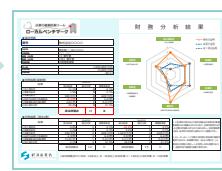
理解度の向上

信頼関係の構築

差別化ポイントが実現できている要因は何か？



売上増加率が向上
している要因は何か？



労働生産性が高い
要因は何か？



業務フローの差別化ポイントが4つの視点
の組織体制や財務分析の営業利益率に
関係していく繋がりが明確になりました！

支援の実施（第3ステージ）

企業の現状と将来目標を結びつけるような
組織支援に取り組みましょう！口カベンは組織
内の引継ぎ資料としても有効です！

ポイント

各種申請書類なども企業への
理解が進んだことで具体的に
書けるようになりました！



口カベンに
取り組んだことで、支援する自分自身も取り組む内容が
明らかになり、迷いがなくなりました！

販路開拓支援

資金繰り支援

設備導入支援

ITシステム導入支援

事業承継支援

伴走的な支援を実施！



経営者の方がご自身で気づかれていたかった企業の強みを対話の中で気づいていただけた時、とても喜んでくださいました！



企業の思いや、今までの歴史など、普段利用している企業カルテだけでは聞くことが出来ない部分をたくさん聞くことが出来ました！



口カベンを使い、対話をしながら魅力の深掘りを行ったことで、経営者の方との距離感がより一層縮みました！



最初は対話もたどたどしかったけど、繰り返し利用することでスムーズに対話できるようになりました。また、どのような企業でも口カベンの視点で答えることができるようになりました。



口カベンを使って企業の非財務情報・財務情報をまとめていたので、補助金申請等の書類を作る時に非常に役立ちました！

実際に口カベンを活用した支援機関の皆さんから、たくさんの「やってよかった！」の声が上がっています。



口カベンの活用事例

事例企業
大林製菓株式会社
(岩手県一関市)

事業内容
お餅の製造・販売

- 既存の顧客・取引先に安心・安全な商品を提供することに注力していた。
- 一関商工会議所より口カベンに取り組むようアドバイスを受けた。

商工会議所とともに口カベンを作成



一関商工会議所からのひとこと 口カベンで対話を行ったことで、大林製菓様の事業に対する理解が深まり、経営計画の策定や各種申請支援を行う際に具体的な内容をスラスラと記載できるようになりました。口カベンを活用した対話をすることで経営支援を行うための準備が整った感じがしました！



気づき
次のアクション
結果

- 既存顧客からのリピートや紹介が主体で、約 10 年程受け身の体制であり、営業活動を行っていなかったことに気づいた。従来の営業方法だけでなく、自社の良さを伝え、新市場の開拓をしていく必要があると気づいた。
- 口カベンで整理した情報をもとに、今までよりもはっきりとした事業計画を立てることができた。
- 対外的なプロモーションを行うためのチームを組み、SNS の活用による PR や HP の作成、オンラインショップの設置を行い、プランディングに向けた活動を開始。
- 新しい市場開拓とプランディングへの第一歩を踏み出せた！
- 口カベンに取り組んでいたことで、自社の強みやその強みを提供するまでの流れを整理することが出来たので、外部環境の変化（コロナ禍）に対しても、自社の強みである安心・安全な商品作りのために自社が何をすればよいか判断でき、影響を最小限にとどめることができた。

大林製菓株式会社 代表取締役 大林学さんからのひとこと

口カベンを行って頭の整理に繋がり、自社の強みや特徴が潜在から顕在に変わりました。
自分では気づけなかったことも多く、気付きや整理した内容自体が自社の財産になりました。



口カベンを詳しく知りたい方へ

口カベンを動画で分かりやすく紹介しています。是非ご覧ください！



短編 (1 分程度) →



長編 (10 分程度) →



すぐに取り組みたい、もっと知りたい方へ

口カベンシートやマニュアルなどもっと詳しい情報は口カベンで検索！



口カベン



で検索！

こちらからも！

知的財産もお忘れなく！

目に見えない資産（知的資産）の一部であるノウハウ、技術、ブランドなどを守る「知的財産権」は、自社の権利を保護するだけではなく、他社とのライセンスや、営業ツールとしても使える、ビジネスチャンスに活かせる権利です。

その知的財産権の権利の取得から活用に至るまで、企業が抱える知的財産に関する課題を解決するための無料のワンストップ窓口として「**知財総合支援窓口**」を全国 47 都道府県に設置しています。

取引先企業が知財に関する課題を抱えている場合にご活用ください。

支援事例等を紹介しています。

知財総合支援窓口 で検索！

特許庁では、中小企業の知財活用を推進すべく、中小企業との関わりが深い地域金融機関等に対して、「知財金融促進事業」を実施しています。この事業では、取引先企業の知的財産を活用したビジネスを評価した知財ビジネス評価書等を提供しています。知財金融とは、金融機関が、中小企業の知恵や工夫を中心とした知財に着目しその内容を理解した上で、事業や経営の支援を行うことを指します。

詳細は「**知財金融ポータルサイト**」をご覧ください！

知的金融促進事業について

知的金融ポータルサイト で検索！



経済産業省

Ministry of Economy, Trade and Industry

作成 東北経済産業局